

## 教材4-A-(3)の解答

### 度数分布表

① 『相対度数』の解決のために

○ 相対度数とは、

「その階級の度数の、資料全体の個数（各階級の度数の合計）

に対する 割合」であり、

(相対度数) =  $\frac{\text{その階級の度数}}{\text{資料全体の個数}}$  で求められる。

資料全体の個数

例えば、右上の表で「18点」という得点の生徒が入る階級の度数は7であるので、

相対度数は  $\frac{7}{25} = \text{0.28}$  となる。

相対度数は、全体の個数が異なるいくつかの資料を比べるときに、大変便利である。

【表】2年1組の生徒の得点

階級(点)	度数(人)
以上 未満 0 ~ 5	3
5 ~ 10	2
10 ~ 15	6
15 ~ 20	7
20 ~ 25	4
25 ~ 30	3
合計	25

### たしかめよう

(1) 右の表は、1年1組の生徒36人と3年1組の生徒40人に、前日にテレビを見ていた時間をアンケート調査した結果です。

60分以上90分未満の階級の相対度数を、それぞれ求めなさい。

1年1組

$\frac{9}{36}$  なので 0.25

3年1組

$\frac{9}{40}$  なので 0.225

【表】前日にテレビを見ていた時間

階級(分)	度数(人)	
	1年1組	3年1組
以上 未満 0 ~ 30	1	6
30 ~ 60	5	10
60 ~ 90	9	9
90 ~ 120	8	8
120 ~ 150	9	5
150 ~ 180	2	2
180 ~ 210	2	0
合計	36	40

年

組 名前

(2) 右の表は、適量だと感じるハンバーグの重さについて1学年の生徒にアンケート調査をした結果です。

Aさんはこのアンケートに、160gが適量だと答えました。Aさんが含まれる階級の相対度数をもとめなさい。

160gが入る階級の度数は14であるので相対度数は

$$\frac{14}{50} = 0.28$$

階 級(g)	度数(人)
以上 未満	
100 ~ 130	3
130 ~ 160	16
160 ~ 190	14
190 ~ 220	5
220 ~ 250	6
250 ~ 280	2
280 ~ 310	3
310 ~ 340	1
計	50